

ゲームボーイなドット

GAMEBOY na DOT
X680x0 Club

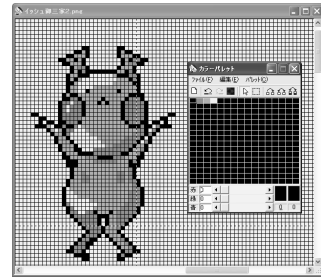


1. はじめに

ここ最近、下手ながらドット絵を勉強中です。会誌のネタに自分の作ったドット絵の紹介をしようと思いました。しかし、会誌は白黒オンリー、つまり色違いばかりのドット絵を紹介しても面白みがありません。そこで白黒しかないゲームボーイ（以下GB）風なドット絵に挑戦してみようと思います。

2. GBのドットについて

GBのドット絵は4色しか使われていません。それは白、黒、濃いグレー、薄いグレーの4つです。今回はこの4色のみでドット絵に挑戦してみます。黒は輪郭に使うことが多いので、色を塗るときに使える色は2～3色程度です。そのため、カラフルなオブジェクトを描くのがとても大変でした。



↑脅威の4色パレット

3. つくってみた

ではさっそく描いてみましょう。筆者はドット絵の技術は拙いので、オリジナルなものは作れません。そこで、9月に発売した「ポケモン BW」での最初のポケモンを、GB風に描いてみます。



↑ゲーム画面のイッシュ御三家。
白黒ですが4色以上使っている。

①ミジュマル

はじめに挑戦したポケモンです。同じ水タイプだからゼニガメを加工すれば大丈夫だろう、と思ったらこうなりました。



↑オヤジ度が増したミジュマル

これはひどい、ということでゲームのドット絵をもとに自分で作っていきます。何度作ってもラッコにしか見えず、もう諦めた結果がこれです。



しっぽは完全に忘れました。ミジュマルではなく別のクリーチャーのようです。ミジュマルは体のパーツによって色の区別がはっきりしているので色塗りは簡単でした。しかし、ミジュマルの姿は難しかったです。ゲーム画面のミジュマルをじっと見ていると、ラッコよりも猫に近い印象を受けます。顔が広いせいでしょう。まあ最初なので、出来が悪くても許してください。

②ポカブ

こいつと似たポケモンはいないし、ミジュマルでの失敗があるので、ポカブは1から作ろうとしました。しかし、初代ポケモンの一覧を眺めていると、ポカブと似ている奴を見つけたので、そいつを元に加工しました。その結果がこれです。



今回作ったなかでは一番出来がいいです。それもあるポケモンを加工したためでしょう。ところで、このポカブはなんのポケモンが元になっているか分かりますか？正解はニドラン♀です。ポカブと同じくちょっと太めで四足なので、利用しました。さすがに顔は違うので、自分で描きました。体の色に黒があるので、色塗りは楽でした。そのうえ、体の色がはっきり分かれているのも良かったです。



おや、ニドラン♀のようすが……！

③ツタージャ

最も苦戦したポケモンです。カラフルな上、肩に謎のパーツがあり、似ているポケモンもない。瞳の塗り方も、他2匹に比べ手間が掛かっています。結果はこれです。



これでも何度も作り直しています。前述したとおり瞳が複雑な上、顔の上部、口の周り、頬の色が違うので、目の付近は塗り方にだいぶ苦戦しました。最終的にこの眠そうなツタージャに落ち着きました。



↑可愛い目から眠そうな目へ

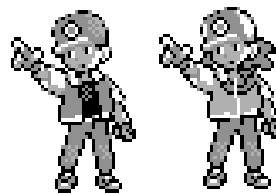
4. おまけ

自分で作ってみると、GB ゲームのドット絵がいかに素晴らしいかが分かります。一部の作品など、4色とは思えない質のものもあります。ゲームに限らず、映像技術は常に進歩して、色鮮やかなピクチャーを楽しめます。ですが、たまにはたった4色で表された世界に浸るのもいいものです。

最後に今回作ったドット絵をまとめてみます。どれも同じ4色から作られたものです。



今回作ったイッシュ御三家まとめ



レッドさんを元につくったBWの男主人公



他の人が作ったえっく☆ちゅを4色にしたもの

ゲームボーイなドット

GAMBOY na DOT
XEB0x0 Club
©2010 TAKEUCHI NAOYA

ちなみにこれもゲームの画面をもとに自分で作りました